
■ さろん | Mail News 2017/6/1 | #92 ■ 【イベント号】

ご案内不要の方はお手数ですがこのメールにそのままご返信ください。

哲学カフェ及び関連イベント情報をお送りします。みなさんの興味・関心の一助としていただくとともに、今後とも「さろん」を応援いただければ幸いです。

なお、このメールニュース掲載のコラム等は執筆者の個人的な考えを表したものです。会や専門領域における統一見解や事象を扱っているものではありません。予めご了承ください。

=====Vol.92 2017年6月1日(木)=====

さ | ろ | ん |
└ ─ ─ ─

M | a | i | l | N | e | w | s |
└ ─ ─ ─ ─ ─ ─ ─ ─ ─

<http://salon-public.com/>

(バックナンバーはHPからご覧いただけます)

<https://twitter.com/salontetsugaku>

<https://www.facebook.com/salontetsugaku/>
=====

☆『さろん仙台ツアー参加募集中!』☆多 いよいよ今月開催です!

仙台ツアーは参加者を絶賛募集中です。楽しいこと請け合いです。ぜひこの機会に弊社スタッフとご一緒に仙台市まで遠征し、現地での弊社例会や親睦会、哲学枕投げ、地元の哲学カフェなどで楽しみませんか?

・日程：6/17(土)から6/18(日)まで

・概略旅程：

1) 6/17(土) 午前～15時まで：各自で仙台市へ移動

2) 同日 午後(15時～予)：さろん哲学 at カフェモーツァルト・アトリエ

<http://mozartatelier.jugem.jp/>

参加費；1,300円/人

(含：ケーキセット+運営費300円/人)

3) 同日 夕刻：親睦会

魚々ろ(ととろ) 仙台一番町店

<https://www.hotpepper.jp/strJ001118762/>

参加費；3～4,000円/人程度

4) 同日 宿泊：晩翠亭いこい荘

<http://www.ikoisouryokan.co.jp/index.html>

- 4人部屋あるいは3人部屋の予定
 - 注；部屋は参加人数により変更の可能性有
 - 夕食なし/朝食付き
 - 料金：一泊 8,300円/人予定+運営費 200円/人
 - 5) 同日 夜(希望者のみ)：哲学枕投げリターンズ at 旅館の部屋
 - 参加費：無料
 - 6) 6/18(日) 午前～15時まで：自由行動
 - 7) 同日 15:00～17:30 : てつがくカフェ@せんだい at smt*1
 - <http://tetsugaku.masa-mune.jp/>
 - *1) smt ; せんだいメディアテーク
 - <http://www.smt.jp/>
 - 参加費；無料
 - 8) 同日 18:00頃 : 現地解散
- ・定員：7～8名程度まで
 - ・〆切：宿泊予約：6/10(土)中
 - それ以外：特になし

上記の旅程は全体のフルメニューですが、個別単独のイベントだけの参加も可能です。参加の希望や、お問合せなどはお気軽に下記までご連絡をお願いします。宿泊だけは、旅館のキャンセル料ポリシーの関係から〆切を6/10(土)としますが、それ以外はギリギリまで申し込み可能です。

・仙台ツアー実行委員長宛て； salontetsugaku@gmail.com

仙台ツアー実行委員長 堀越

INDEX

- 【1】 予約受付中：6/17 さろん哲学 第82回 テーマ：「目標は持っていた方がいいのか？」
- 【2】 予約受付中：6/11 朝さろん (69) 『還れぬ家』 / 〈震災と〈わたし〉のあいだ〉
- 【3】 準備中： - さろん工房
- 【4】 開催の報告：5/20 さろん哲学 第81回 テーマ：「不倫は許されないのか」
- 【寄稿】 例会参加後の感想 / 「それでもなにかを信じてる？」
- 【おしらせ】 さろんラボ 企画を募集中です♪
- 【5】 関連イベント情報
- 編集後記

CONTENTS

【1】さろん哲学

第82回 テーマ：「目標は持っていた方がいいのか？」（特別版につき仙台で開催！）

第82回さろん哲学を下記のテーマで開催します。

日 時：2017年6月17日（土）15:00-17:00

テーマ：「目標は持っていた方がいいのか？」

進 行：堀越

会 場：カフェ モーツアルト アトリエ（仙台市青葉通一番町駅）

<https://tabelog.com/miyagi/A0401/A040101/4002601/>

参加費：1,300円（ケーキセット1,000円/人+運営費300円/人）

定 員：12名くらい

▽司会から：勉学や仕事に臨む場面において、私達は目標を立てることの重要性を学校や職場で教え込まれて、意識している。今回は、「目標を持つこと」の意味について考えてみたい。

- 会場は前回と異なりますので、ご注意ください。
- お返事のメールが受信できるよう、迷惑メール設定などは適切にご変更願います。
- さろんのイベントに参加申し込みをされた方には、もれなく毎月メールニュースが配信されます。不要の方はさろんのHP（<http://salon-public.com/>）末尾のフォームに、その旨ご記入願います

ご予約を受付中です。 salontetsugaku@gmail.com（予約担当：ヤギ林）

詳細はこちらをご覧ください。

<http://salon-public.com/tetsugaku/>

<https://twitter.com/salontetsugaku>

◆さろん哲学は【原則、毎月第3土曜】開催です

◆7月期のさろん哲学は、通常どおり

【7月15日（土）15:00-17:00、都内開催】となります。

テーマ、会場は決まり次第 HP およびメールニュースでご案内します

【2】朝さろん/夜さろん

朝さろん 〈69〉『還れぬ家』 / 〈震災と〈わたし〉のあいだ〉

先月朝さろん『ボラード病』には新規参加者を含む9名の方にご参加いただきました。

これまでの開催内容はHP「朝さろんの本棚」から閲覧できます。

<http://salon-public.com/archives/category/033>

【朝さろん】

◆朝さろん 69th morning

『還れぬ家』 佐伯一麦 / 〈震災と〈わたし〉のあいだ〉

日 時：2017年6月11日(日)9:05-12:00

参加費：1500円 (ワンドリンク、室料、運営費、資料代込み)

場 所：渋谷の会議室利用予定 (ご予約時にご案内いたします)

本 　：『還れぬ家』 佐伯一麦 (新潮文庫)

定 員：8名程度 (要予約)

バリスタ (進行)：芹沢

内 容：

- *大震災から6年。あの震災と、一人ひとりの〈わたし〉のあいだを見つめるシーズン、完結編。
- *あらすじ 『十代で捨てた家だった。姉も兄も寄りつかない家だった。老父は心臓病を患い、認知症が進む。老母は介護に疲弊していた。作家は妻とともに親を支えることになった。総合病院への入院も介護施設への入所も拒む父、世間体と因襲に縛られる母。父の死後、押し寄せた未曾有の震災。——作家は紡ぐ、ただ誠実に命の輪郭を紡ぎ出す。佐伯文学の結実を示す感動の傑作長編。』

◆朝さろん 70th morning

『白痴』 坂口安吾 / 〈生きよ。墮ちよ。〉

日 時：2017年7月16日(日)9:05-12:00 ●都合により開催週を変更して行います●

参加費：1500円程度 (ワンドリンク、室料、運営費、資料代込み)

場 所：渋谷周辺の会議室利用予定 (ご予約時にご案内いたします)

本 　：『白痴』 坂口安吾 (新潮文庫ほか)

無料版：(青空文庫)「白痴」http://www.aozora.gr.jp/cards/001095/files/42621_21290.html

関連資料：(青空文庫)「墮落論」http://www.aozora.gr.jp/cards/001095/files/42620_21407.html

定 員：8名程度 (要予約)

バリスタ (進行)：芹沢

内 容：

- *「わざと墮落する」ってどんな意味があるんでしょう。現在の「墮落論」があるとすればどんな行為がそれに値するのでしょうか。地を這うような視座を仮想し、生命力の横溢するシーズンです。
- *あらすじ 『白痴の女と火炎の中をのがれ、「生きるための、明日の希望がないから」女を捨てていくはりあいもなく、ただ今朝も太陽の光がそそぐだろうかと考える。戦後の混乱と頹廢の世相にさまよう人々の心に強く訴えかけた表題作など、自嘲的なアウトローの生活をくりひろげながら、「墮落論」の主張を作品化し、観念的私小説を創造してデカダン派と称される著者の代表作。』

◆朝さろん 71st morning

『今夜、すべてのパーで』 中島らも / 〈生きよ。墮ちよ。〉

日 時：2017年8月6日(日)9:05-12:00 ●お盆休み時期と重なるため開催週を変更しました●

参加費：1500円程度 (ワンドリンク、室料、運営費、資料代込み)

場 所：渋谷周辺の会議室利用予定 (ご予約時にご案内いたします)

本：『今夜、すべてのバーで』中島らも(講談社文庫)

定員：8名程度(要予約)

バリスタ(進行)：芹沢

内容：

*人間の生の根源、生きる力を見つめるシーズン、第2回です。

*あらすじ『紫の香腺液の結晶を、澄んだ水に落とす。甘酸っぱく、すがすがしい香りがひろがり、それを一口ふくむと、口の中で冷たい玉がはじけるような……。アルコールにとりつかれた男・小島容(いる)が往き来する、幻覚の世界と妙に覚めた日常そして周囲の個性的な人々を描いた傑作長篇小説。吉川英治文学新人賞受賞作』

以上、ご予約受け付け中です。 salontetsugaku@gmail.com (担当：芹沢)

過去の開催内容をHPに掲載しています。

◇朝さろんの本棚

<http://salon-public.com/archives/category/033>

◇夜さろんの本棚

<http://salon-public.com/archives/category/034>

【開催概要】

《朝さろん》第2週の日曜AMに開催(場合によって開催週変更の場合あり)

《夜さろん》不定期開催

【3】さろん工房

次回イベントを準備中です

さろん工房では、次回のイベントを準備中です。

現在のところ不定期開催となっておりますが、次回もどうぞお楽しみに。

さろん工房のアーカイブや、ご要望・リクエストはこちらで受付中です。

お気軽にどうぞ。

<http://salon-public.com/koubou/>

salontetsugaku@gmail.com

<https://twitter.com/salontetsugaku>

【4】さろん哲学

第81回 テーマ：「不倫は許されないのか」

第81回さろん哲学を下記テーマで開催しました。

日時：2017年5月20日（土）15:00-17:00

テーマ：「不倫は許されないのか」

進行：堀越

会場：カフェミヤマ渋谷公園通り店 第1号室

参加者：17名

進行から：初参加者4名を含む総勢17名で、主に、不倫が当事者間でどういう影響を与えるか否かを考え、対話をした。

近日中にHPに議事録を公開します。

詳細はこちらからご覧ください。

<http://salon-public.com/archives/category/023>

---- 【寄稿】 -----

例会参加後の感想／「それでもなにかを信じてる？」

「それでもなにかを信じてる？」 by エミリーさん

参加したてつがくカフェがたまたま「不倫は許されないのか？」というテーマの回で、司会のひとが最初に「あなたは不倫は許せる？許せない？どちらですか」って訊いたからわたしは許せない方に手を挙げた。そしたらわたしがおもってたより反対のひとって少なくて。許せるひとって結構いるんだなとか、どちらでもないに挙げたひとってなんでなんだろうとかって気になることが始まっていきなり増えた。わたしと同じ許せない派のひとは「じぶんひとりだけの問題じゃなくて、結婚の証人になったひとにも迷惑をかけるから」とか「ダメなものはダメだから。結婚にはそういうしたらダメってことがあるんじゃないか」って話してた。反対に、許せる派のひとは「不倫してもされても、そもそも許すとか許さないとかいうレベルにない。したらしたってだけで。その可能性ってぜったいあるわけだし」とか、「気持ちを縛りつけることって無理なんじゃないか。だから現実的には許すという選択肢しかないかな」とかって話していて、わたしからすると随分大人というかドライというか。冷めてる感じがした。

いわゆるリベラル？っていうひとたちが多いのかな。そういうひとたちにとっては、たぶん不倫がどうこうよりももっと優先的に大事におもてることがあるんじゃないかなとおもう。不倫はいけど嘘をつくのはダメ、とか。不倫は許すけどギャンブルと自殺は許せない、とか。結婚生活上では、恋愛よりもほかの価値観とか倫理観の方にこだわっている様に見えた。それがなにかは、不倫を許す派のひとの中でもたくさんあるんだろうけど。

帰りの電車で運よく座れたせいもあるのか、さっきの不倫についての議論が気になってぐるぐると考え続けてしまっていた。わたしは不倫は許せないっていう恋愛観(?)を持っているけど、それ以外にも大事にしてる価値観みたいなものもある。ピアス穴は一個までとか。汚物を棄てるときはかならずティッシュに包むとか。うれしいことと哀しいことがあった日にはちゃんと日記をつけるとか。謝られる前にわたしから謝る、とか。そういうわたしが大切にしていることが片っ端から

破られたり否定されたりしたとして、それでも相手を許せるってことってできるんだろうか。それでも許せるひとつで一体なにを大事にしてるんだろう、とおもう。宗教っていうようなものじゃなくても、やっぱりわたしが信じてるとしかいいようがないものがある。そういう信じるなにかを、きょうの参加者全員もそれぞれ持っているとおもう。だから信じてるものによっては不倫は大丈夫なのかもしれないけど、もし信じてるものに差し障りがあることだったら許すことはできないんじゃないかな。きっと。

前に会社の先輩とランチを食べていたらこんな話が出た。

「どっちがいいか選んでね。浮気や不倫をちょこちょこしているんだけど、それをあなたに微塵も悟らせず、怪しまれないようにバレないようにものすごく上手にこなしてる夫恋人。もうひとつは、女遊びを一切隠さずに遊びまわるけどあなたに嘘はつかない夫恋人。このふたりならどっちを選ぶ?」。不倫を許せないわたしからすればこの場合ふたりとも NG なんだけど、それでもこのふたりなら嘘はつかない男の方がマシな気がしてしまう。浮気するなら墓場まで持って行けっていう話はわたしも耳にしたことはあるけど、あれって本音は「浮気しないで（不倫は許せない）」の変形パターンなんじゃないかとおもっている。お弁当も食べ終わってペットボトルの中身が半分になった頃、先輩が「じゃあ、不倫をしても器用でバレない夫を持つのと、包み隠さず堂々と浮気をする恋人を持つのだったら、どっちがマシだとおもう?」と訊いてきた。今度はなにを手がかりに判断したらいいかよくわからなくてぼーっとしてしまったのを覚えている。そしたら彼女はバッグから出した本のカバーをめくって『つまらぬ男と結婚するより一流の男の妾におなり』っていうタイトルをチラッと見せてくれた。先輩が出してきた問題はそもそも、みんなからうしろ指をさされるようなものとして不倫があって、わたし自身も同じように不倫に禁止のニュアンスを認めてはじめて生まれてくる問いだとおもった。だから不倫は許せない派のわたしにとってみたら大まじめに悩ましい問題だったし、恋愛についての考え方がちょっと揺らいだみたいなきがした。このあいだのてつがくカフェでいろいろな意見を聞いたあとのいま、彼女が出した話を思い出してもやっぱり難しいとおもう。

その先輩は前の会社にいたときにわたしの上にいるひとで不倫をしていた。でもなぜかわたしにだけはその話をしてきた。ある日の昼休み、その E さんに「悪いことだとは思わないんですか?」ってストレートに訊いてみたことがあった。彼女は「まあよくないことだよ。いけないことだって一応おもってるし、したくてしてるわけじゃないんだよ」って返ってきて宙に箸が止まってしまった。

ならしなきゃいいのってというのが当時のわたしの素朴な感想で、わたしの表情を読んだのか、先輩は「でも、だからってしないってのもできないんだ」といった。お弁当にいれてきた黒豆煮がそのときどうしてもうまくつかめなくて、結局デスクの下に落としてしまったのを覚えている。ティッシュに包んでからゴミ箱に棄てた後、わたしはこのモヤモヤをどこから質問したらいいのかわからなかった。わたしが上司とその会社に愛想が尽きて辞めるまでのあいだ、E 先輩とは部屋が変わってもときどきランチをしていた。その結果 E さんみたいに「不倫は許せない、けど不倫する」ひとがいるってこともすこしずつ理解できるようになってきた。彼女が大事に考えているものはなによりも恋愛で、だから浮気や不倫もする（してしまう）のだという。

“だから”っていう繋げ方がわたしは最初よくわからなかったんだけど、本気で恋愛している恋人同士なら浮気や不倫を嫌がったり「浮気しないで」っていったりするの自然なことだとおもう。相手のことが好きだし、嫌われたくないし、罪悪感を持つのも嫌だし、だからそういうことをしな

いようにする。でももし、本気で愛してしまうようなほかの誰かに出逢ってしまったら、恋人を傷つけるのを怖れて踏みとどまるとか、後ろめたいからやめるっていうことはじぶんはできないの、という正直なひともいるのだ。“だから”本気で好き合ってる(た)恋人が隣にいるけど一歩踏み出してほかの恋愛に飛びこむんだ、って。「恋人が好きだったり大事に思うほど、その一歩が重たいんだけどね。だから飛びこむときはすっごく本気、真剣なんだよ」と話してくれたEさん。彼女の不倫相手がわたしの嫌いな上司だったと知ったのは会社を辞める直前だったけど、わたしにはあんな嫌いな上司がなぜ危険を冒してまで恋愛するような相手なのか理解不能だった。でも彼女が恋愛を大事に信じているっていうことはわかる気がする。タブーを犯して飛び込むからこそ試される愛もある、みたいな感じなのかなって。

ベッキーとゲスのニュースが流行っていたとき、わたしはE先輩のことを思い出した。

ゲス不倫っていわれてるあのスキャンダルをフォローする気はないけど、もしかすると先輩みたいに、不倫はよくないとわかってるからこそあの二人は必死に恋してたのかもしれない。不倫だから二人の気持ちが余計に強く結びついてて、二人だけの世界の中でもものすごく真剣に恋愛してたのかもしれない。不倫がバレてベッキーが「レッツポジティブ!」とかってLINEを送ってた頃、ふたりの恋愛はいちばんピークにあったんじゃないかとおもう。世間のみんなの目をごまかして、ふたりだけの愛を楽しもうとしてる様子って見てて痛々しいくらい自分勝手にバカみたいに盲目だけど、でも呆気にとられるくらい真っ直ぐだなおもった。既婚者なのにベッキーを実家に連れていくっていうどう考えてもアホの極みの行動も、初カノに舞い上がりきってる男子中学生みたいな感じですっごく子どもっぽい。それくらい「好きで好きでたまらないんだろうな」っておもう。その一部始終の楽屋裏まで目撃することになった奥さんは本当にたまったもんじゃないだろうけど、あそこまでふたりがのぼせ上がってるのを見せつけられてしまったら、未練の最後のひとかけらも完璧に碎け散るんじゃないかとおもった。

周りの迷惑を考えたら決して褒められることじゃないけど、不倫・駆け落ち・心中みたいなものって、恋愛に火をつけるんだなとわたしはあらためておもしろかった。いま目の前にある恋が試されていると感じてるとき、恋人同士ってたしかに燃えるのかも。その結果がハッピーエンドになることって絶対少ないだろうけど。でもだからこそ、危険上等でそこに飛びこんだEさんとか、ベッキー(?)とか、ある意味では本物の勇気があるんだなとおもう。あの二人をバカにできる資格があるのはその蛮勇を持ち併せてるひとだけなのかもしれない。ゲス不倫があれだけ叩かれたのは、そういう”本物らしさ”のにおいが少ししたからなのかもしれない。今のわたしはそんな風におもっている。

誰かの不倫についてはそんな風に考えたりするけど、やっぱり「不倫は許せない」派のわたしは、せいぜい『昼顔』を観たり『ブローケン・イングリッシュ』を観たりしてあれこれ勝手に想像するくらいしかできない。でも実際のところ、「許せない」し「だからしない」派のわたしがそれで守ろうとしているもの、大事に信じているものっていったいなんなんだろうかって、布団に横になってからもそれをよく考えてしまう。

【おしらせ】

さろんラボ 企画を募集中です♪

名称：【さろんラボ】

コーディネーター：【大村】

さろんでは「さろんラボ」を常設しています。

このさろんラボではみなさんの「やってみたい」を核に、「さろん」を触媒にして、どんな化学変化が起きるかを試みる場所です。

「さろんラボ」からは、さろんの参加者の手で、以下の2つのイベントがうまれました。

▼さろんラボ 001 「あたまの中を散歩するてつがくカフェ」

<http://sanpo-tetsugaku.jimdo.com/>

▼さろんラボ 002 「哲学カフェ Ante-table/アンティ-テーブル」

<http://ante-table.wix.com/ante-table>

既存の哲学カフェのカタチに限定せず、みなさんの中で温まっている関心ごとやご興味を添えてお気軽に下記までご連絡下さい。みなさんとの新しい化学変化を、スタッフ一同心から楽しみにしています。

▽詳細はこちらまで

salontetsugaku@gmail.com (担当：大村)

【5】関連イベント情報

哲学カフェ関連イベントやおもしろスポット、その他おすすめ情報をご紹介します

From さろんラボ：001

〔あたまの中を散歩するてつがくカフェ〕第28回

ひとりひとりの言葉をじっくりときき、ゆっくりと考えることを大切に活動しているてつがくカフェです。東京と愛知の両方で開催していますので、参加を検討いただく際にはどちらでの開催か、会場のご確認をお願いいたします。みなさんのご参加をお待ちしています。

日時：2017年7月2日（日）10:00～12:00

テーマ：「(未定)」(近日中にウェブサイト等へ掲載します)

運営・進行：くらち

会場：東京都内のカフェ（新宿を予定しています）

定員：6名程度

参加費：無料

※参加には事前の申し込みが必要です

※ご都合にあわせて途中参加や途中退出をしていただいてもかまいません

※当日の詳細は参加申し込みいただいた方へご連絡します

※参加費は無料ですが、会場での飲食代実費は各自ご負担ください

※参加申し込みはウェブサイト内の「申し込みと問い合わせ」フォームから、もしくは
sanpo.tetsugaku@gmail.com までご連絡ください

(Gmail が受信できる設定をお願いいたします)

ウェブサイト <http://sanpo-tetsugaku.jimdo.com/>

ツイッター https://twitter.com/sanpo_tetsugaku/

お申込み・ご質問 sanpo.tetsugaku@gmail.com (くらち)

From さろんラボ : 002

[哲学カフェ Ante-table/アンティ-テーブル] 第12回

テーマ : 『他者』の関わらない幸/不幸はあるのか?

日時 : 2017年6月10日(土) 14:00~16:00

費用 : 1000円程度(ワンオーダー制)

人数 : 6名程度

会場 : ギャラリー&カフェ帝(ミカド) (神楽坂駅1番出口より徒歩1分)

<http://utsuwa.co/store/>

哲学カフェ Ante-table/アンティ-テーブル

HP : <http://ante-table.wix.com/ante-table>

email : cafe.ante.table@gmail.com

(一覧になっているもの)

▽首都圏哲学関連イベントまとめサイト

<http://tokyotetsugakumatome.g.hatena.ne.jp/>

▽もっと自由に「てつがく」したい!対話がメインな東京の哲学カフェまとめ

<http://matome.naver.jp/odai/2136167936080093501>

▽全国各地の哲学カフェ

<http://matome.naver.jp/odai/2138543414370880601>

▽哲学カフェ一覧

<http://www.135.jp/lite/>

▽東京で行われている読書会まとめ

<http://matome.naver.jp/odai/2135489489421994201>

▽カフェフィロ

<http://www.cafephilo.jp/>

▽哲学プラクティス連絡会

<http://philosophicalpractice.jp/>

▽てつがくカフェ@せんだい

<http://tetsugaku.masa-mune.jp/>

せんだいメディアテーク (smt) にて「てつがくカフェ@せんだい」さんによるてつがくカフェが開催され、さろん仙台ツアーの一行が参加します。

▼6/18(日) 15:00-17:30 「考えるテーブル てつがくカフェ第61回」

テーマ《いま、『選ぶこと』の意味を問い直す》

<http://table.smt.jp/?p=13618>

▽6/4 話をするって、どういうこと?～「テロ等準備罪/共謀罪」をきっかけに対話する～

14:00～16:30 (受付 13:30)

@武蔵野プレイス ■JR 中央線・西武多摩川線「武蔵境駅」南口下車、徒歩1分

http://taiwasuru.blogspot.jp/2017/04/blog-post_21.html?m=1

▽6/4 第二回哲学カフェ・レーベン

日曜日 15:00-17:00 [場所] まなび創生ラボ (東銀座セミナールーム)

[世話人] 伊藤 貴雄・梅田 孝太 [共催] まなび創生ラボ

[参加費] 学生無料、一般 500 円 (飲料代)

<https://m.facebook.com/events/286411795131389>

▽6/8 「解体新所—まだ名前のない《場》を科学する/地域資源としての保育園」(渋谷・道玄坂)

《場》の構造について考察する対談シリーズ

今回のゲストは、「まちの保育園・こども園」を運営する松本理寿輝さん

<https://www.opencu.com/2017/05/layout-kaitaishinsho04/#>

▽6/11 福永武彦研究会「池澤夏樹氏講演会」

神保町・東京堂書店

<http://t-fukunaga.sakura.ne.jp/>

▽6/24 【代官山えほんのはなし】<池田晶子の言葉と出会う>

ヨシタケシンスケ トーク&サイン会 | 代官山 T-SITE

<http://real.tsite.jp/daikanyama/event/2017/05/post-321.html>

▽6/24 英語で サイエンスカフェ 宇宙 2017

1) シャボン玉・時空・構造体

2) 銀河の誕生・成長・死

会 場：多摩六都科学館

(西武新宿線花小金井駅北口より徒歩 18 分, または花小金井駅, 田無駅よりはなバス)
対 象 : 中学生以上 (*内容は高校生以上相当です。使用言語は英語で、通訳はありません)
参加費 : 無料 (*別途多摩六都科学館入館料 500 円が必要。)

本イベントに参加する中高生は入館料も無料)

主 催 : 東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構
(Kavli IPMU), 多摩六都科学館

問い合わせ : Email: koukai-kouza@ipmu.jp

<http://www.ipmu.jp/ja/publicevent-SCafe2017>

▽7/1 (土) 15:30 サルトル『嘔吐』読書会

双子のライオン堂書店 (赤坂)

<http://ptix.co/2s6m6Ef>

▽7/16 (日) 13:00 第1回『ゲンロン0 観光客の哲学』(東浩紀) 読書会

双子のライオン堂書店 (赤坂)

<http://ptix.co/2rxrJhZ>

▽てつがくカフェ「医療とケアを問い直す」

<http://sinemasamune.blog.fc2.com/>

▽NPO 法人子ども哲学おとな哲学アーダコーダ

<http://ardacoda.com/>

▽東京メタ哲学カフェ

毎月第一日曜に、哲学カフェ・哲学対話の運営について対話しています。

<https://mgasamihonma.wixsite.com/tokyometa>

<https://www.facebook.com/tokyometa/>

▽人生カフェ

詳細 : 詳しくは「人生カフェ」で検索を。

<http://tokyojinseigakuin.cocolog-nifty.com/blog/>

▽ねりまの哲学対話 “ねりテツ”

<http://msentalife.wixsite.com/entalife>

『わわわの話』

<http://msentalife.wixsite.com/entalife/blank-12>

▽竹林茶話会 哲学 Cafe@柏

<https://www.facebook.com/chikurinsawakai/>

▽Core Talk Cafe おとなのためのてつがくカフェ

<http://www.coretalkcafe.jp/index.html>

▽はなこ哲学カフェいどぼたのいどほり

<https://www.facebook.com/hanakophilosophycafe/>

▽対話カフェ Tokyo～Yokohama

<https://taiwa-cafe.jimdo.com/>

▽デモクラシーCafe@東村山

http://blog.livedoor.jp/pieru80-democracafe_higashimurayama/

▽読書と対話の会

<http://1love.link/pg47.html>

▽対話の実験室@公-差-転

<http://kosaten.org/taiwa/>

▽クルミドの朝モヤ

<http://ameblo.jp/kurumed/>

▽原稿の推敲・校正・リライトを支援する3つの文章チェックツールを作りました！

<http://tokimaki.hatenablog.com/entry/2016/10/23/160512>

▽小金井哲学カフェ

<http://koganei-philosophycafe.blogspot.jp/>

▽高千穂大学哲学研究会パイディア

<https://paideiatakachihophilosophy.wordpress.com/>

▽UTCP (東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属「共生のための国際哲学研究センター」)

<http://utcp.c.u-tokyo.ac.jp/>

▽P4C-japan

<http://p4c-japan.com/>

▽クラリスブックスの読書会 | 東京下北沢の古本屋

<http://blog.clarisbooks.com/2014/07/15/2696>

▽読書会ガイブンキョウク

<https://twitter.com/gaibunkyoku>

▽京都・大阪市民読書会

<http://kyotobookclub.blog.fc2.com/>

▽おへそ保育園「こども哲学」レポートブログ

<https://kodomotetugakuacademy.amebaownd.com/>

▽リフレクション・ポータル

<http://reflectionportal.com/>

▽『作家、学者、哲学者は世界を旅する』ミシェル・セール

<https://www.amazon.co.jp/dp/480100198X/>

▽『いま世界の哲学者が考えていること』岡本裕一郎

<https://www.amazon.co.jp/dp/4478067023/>

▽『あなたの知らない脳——意識は傍観者である』デイヴィッド・イーグルマン

<https://www.amazon.co.jp/dp/415050475X/>

▽『幸福はなぜ哲学の問題になるのか』青山拓央

<https://www.amazon.co.jp/dp/4778315359/>

▽『哲学する子どもたち：バカロレアの国フランスの教育事情』中島さおり

<https://www.amazon.co.jp/dp/4309247814/>

▽『大学4年間の哲学が10時間でざっと学べる』貫成人

<https://www.amazon.co.jp/dp/4046014490/>

▽『中動態の世界 意志と責任の考古学』國分功一郎

<http://www.igaku-shoin.co.jp/bookDetail.do?book=87748>

▽私小説『還れぬ家』にみる家族・故郷・古い

西部邁ゼミナール(2013)

<https://www.youtube.com/watch?v=eqlnluLXZkE&feature=youtu.be>

編集後記

メールニュース第92号をお届けします。

こんにちはフクロウです。

6月に入りました。2017年も折り返し地点が見えてきましたね。

水無月は字義に反して梅雨時期ですが、そんな月に入った途端に関東では雨模様の朝でした。

気象庁の発表によるとことしの夏は猛暑をさらに上回るような過酷な夏になるそうです。せめてこ

の時期くらいは路傍や公園の紫陽花に目を向けて涼を取りたいですね。

いよいよ今月さろん仙台ツアーがおこなわれます。

なんとといっても杜の都の仙台。

iPod で宗さんの「青葉城恋唄」を聴き、新幹線では「青葉繁れる」を読みながら、新緑に包まれた青葉城に広瀬川を眺め、Café 青山文庫で珈琲を嗜み、火星の庭を訪れるのが楽しみです。

もちろん、一隆の牛タン、八仙の餃子、井ヶ田の抹茶ソフトも。

なんて書くとまるっきり観光気分ですが、てつがくカフェ@せんだいさんの哲学カフェや、現地でのさろん哲学の開催をつうじて、たくさんの方と交流できるのを本当に楽しみにしています。

ツアーの様子は7月号メールニュースでお伝えできればと思っています。

今月は都内での例会（さろん哲学）はありませんが、6/15日号メールニュース「読み物号」にはひさしぶりに「ミニさろん」が掲載なので、こちらをお楽しみいただければ幸いです。

それではまた次号でお会いしましょう。ほう。

編集: (フクロウ)

さろん | Mail News 2017/6/1

⇒次号 (6月15日発行予定)

さろん Mail News 第92号 / 2017年6月1日発行【イベント号】

編集・発行: さろん

salontetsugaku@gmail.com

<http://salon-public.com/>

<https://twitter.com/salontetsugaku/>

<https://www.facebook.com/salontetsugaku/>

-
- ◇ 「さろん」にお知らせいただいたお名前・メールアドレスなどの個人情報は、当会からのご案内のためだけに使用いたします。
また、ご本人の同意なく第三者への提供はいたしません。
 - ◇ 「Mail News」の無断転載はご遠慮ください。転載ご希望の場合はご連絡願います。
バックナンバーはHPからご覧いただけます。
 - ◇ 【Twitter】 <https://twitter.com/salontetsugaku/>
 - ◇ 【Facebook】 <https://www.facebook.com/salontetsugaku/>
 - ◇ 【ホームページ】 <http://salon-public.com/>
 - 「さろん哲学」Web サイト <http://salon-public.com/tetsugaku/>
 - 「朝さろん」 Web サイト <http://salon-public.com/asa/>
 - 「さろん工房」Web サイト <http://salon-public.com/koubou/>



"copyright (c) 2011-2017 さろん. All rights reserved."
